

コーヒーメーカー
Coffee Maker

MC-213



取扱説明書

INDEX

3～4	安全上のご注意
5	各部のなまえとはたらき
6	各部の扱い方
7～9	コーヒーの作りかた
10	コーヒーレシピ / ワンポイントアドバイス
11	お手入れ
12	故障かな?と思ったら
13	部品について / 仕様
14	アフターサービス
15	コーヒーメーカー保証書

REALFLEET

REALFLEET co., ltd. m² Harajuku 5F, Jingumae 6-27-8,
Shibuya-ku, Tokyo Japan 150-0001 tel: 03-5774-0947 fax: 03-5467-0431
info@amadana.com

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

このたびは *amadana* コーヒーメーカーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、ご使用中にわからないことやトラブルが生じた時のために、お読みになった後は必ず保管してください。

安全のための表示について

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。

この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 警告： 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意： 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

本文中の絵表示の意味です。

 は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 接触禁止
 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	 必ず行う	 さし込みプラグを抜く			

 警 告	
 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがをする恐れがあります。	 水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の恐れがあります。
 改造はしない。また、修理技術者以外の人、は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。 修理は、お買上げの販売店または「お客さまサポートセンター」にご相談ください。	 ガラス容器なしで使わない やけどをする恐れがあります。
 電源コードを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しない（無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど） 電源コードが傷付いて、火災・感電の原因になります。	 蒸気が出るところにさわったり、顔などを近づけない やけどをすることがあります。特に乳幼児には、さわらせないようにご注意ください。
	 定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。



警告



電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みがゆるい時は使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない
感電やけがをすることがあります。



電源は、100V専用コンセントを使用する
感電や火災の原因になります。



さし込みプラグはコンセントの奥までしっかりさし込む
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。



注意



抽出中にガラス容器をはずさない
熱湯が飛び散りやけどの原因になります。



使用中や使用後しばらくは、本体を動かさない
本体を持ち運ぶ時は、ガラス容器をはずす
コーヒー・湯がこぼれて、やけど・故障の原因になります。



不安定な場所や熱に弱い敷物の上、水にぬれた場所では使用しない
火災・感電の原因になります。



使用時以外は、さし込みプラグをコンセントから抜く
けがや、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災を防ぐためです。



部品の取り付け、取りはずし、お手入れする時はスイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜く
けがや、やけどをする恐れがあります。



壁や家具の近くで使用しない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



使用中や使用後しばらくは、保温板やタンクふた、浄水フィルター、本体上部に触れない
高温ですのでやけどをすることがあります。



お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



さし込みプラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火を防ぐためです。

お願い

続けてコーヒーを作る場合はスイッチを『OFF』にして、5分以上待つ

本体が熱いうちに給水したり、動かしたりすると浄水フィルターから蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

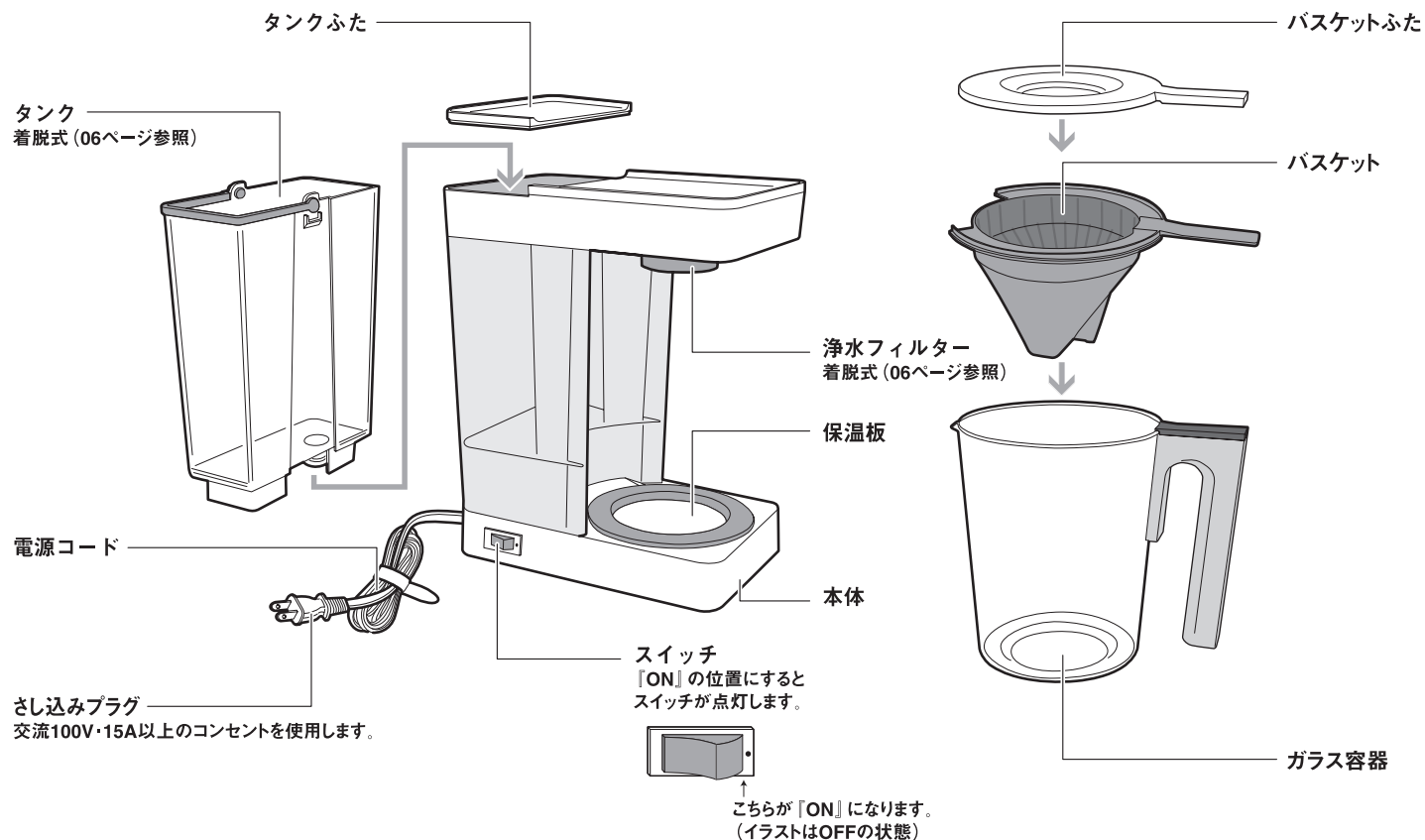
空だきをしない

タンクに水が入っていない時は、通電させないでください。
(保温時は除く) 故障の原因になります。

タンクに湯・コーヒー・紅茶・牛乳・酒など、水以外のものを入れない
故障の原因になります。

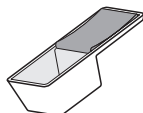
タンクふたや、本体上部に物を載せない。また、使用中にふきんなどをかぶせない
故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき



付属品

- 計量スプーン (1個)
くすりぎり1杯
コーヒー粉：約8g



- ペーパーフィルター (3枚)
市販のものをお求めの際は
(1×2) または (102)
サイズをお求めください。



■ 定格および製造番号の記載位置

定格および製造番号は本体底面に記載してあります。

製造番号はカスタマー登録の際に必要となります。

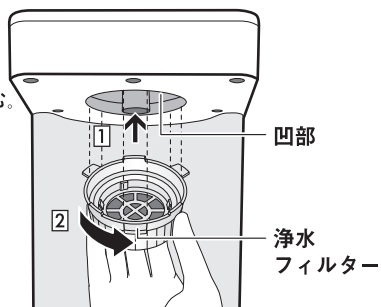
「カスタマー登録」についての詳細は付属の
「カスタマー登録用紙」をご参照ください。

各部の扱い方

浄水フィルターの着脱について

■ 取り付け方

- ① 浄水フィルターの突起部を本体の凹部に合わせてさし込む。
- ② 矢印の方向に止まるまで回す。



■ はずしかた

取り付けかたの逆の方向に回す。



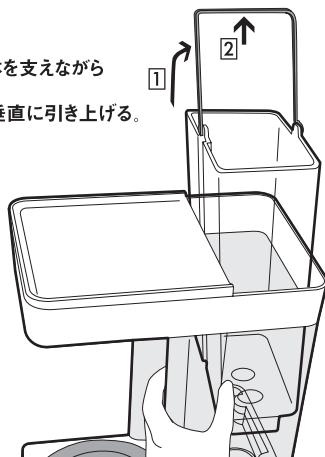
注意

使用直後は内部に湯が残っている場合があります。
やけどをする恐れがありますので、充分冷ましてから取り付け、取りはずしを行ってください。

タンクの着脱について

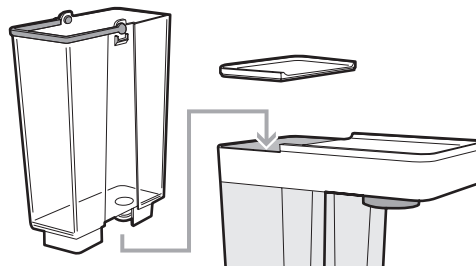
■ はずしかた

- ① タンクふたをはずし片手で本体を支えながら
- ② タンク上部の取っ手を持って垂直に引き上げる。



■ 取り付け方

本体のスイッチ側に、タンクの水位目盛りがある面を向け、タンクを垂直に下ろす。
※タンク底面が本体から浮かないよう確実に取り付ける。
(浮いているとコーヒーが抽出されない場合があります)



ガラス容器の取り扱いについて

ガラス容器を安全にお使いいただき破損を防ぐために、下記注意事項をお守りください。

- 直火にかけたり、電子レンジで使わない。
- 落としたり、硬いものにぶつけたりしない。
- ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり水をかけたり、ぬれた場所に置かない。
- 漂白剤、みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどでお手入れしない。
- ガラス容器に氷を入れたり、スプーンなどでかき混ぜない。
- 食器洗いで洗わない。



注意

傷がつくと割れやすくなります。もし割れた場合は取り除く時に手を切らないよう充分ご注意ください。

コーヒーの作りかた

初めてご使用になる時は

初めてご使用になる時や、長期間保管されていた場合は、ご使用前に次のように内部を洗浄してください。

- ① 浄水フィルターを図のように水で洗い流してから取り付ける。(洗剤・漂白剤・ブラシなどは使わない)
- ② タンク、タンクふた、ガラス容器、バスケット、バスケットふたを洗って取り付ける。
- ③ タンクの目盛り「ホット6」まで水を入れる。
- ④ さし込みプラグをコンセントにさし込み、スイッチを「ON」にして1～2回抽出する。

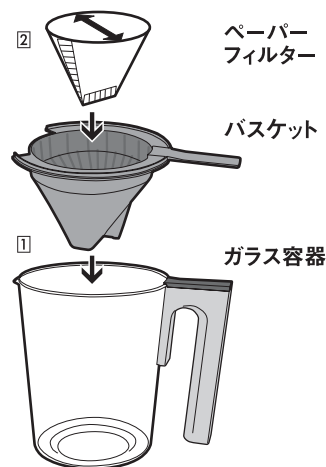
※抽出した湯に活性炭の黒い繊維が浮いていることがあります。この場合ご使用になる前にもう一度浄水フィルターを水で洗い流してください。

約10秒間



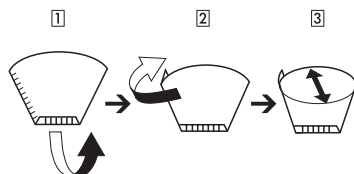
1 バスケットにペーパーフィルターを取り付け、コーヒー粉を入れる

- ① ガラス容器にバスケットをのせます。
- ② ペーパーフィルターをバスケットに入れ、軽く押さえます。
- ③ 付属の計量スプーンでコーヒー粉を量ってペーパーフィルター内に均一に入れます。
- ④ バスケットふたを取り付けます。



ペーパーフィルターの折りかた

ペーパーフィルターのミシン目を折り曲げ、しっかり広げて取り付けます。



コーヒー豆量の目安

アイスの場合、アイスコーヒー用豆もご使用いただけます。

カップ数	ホット hot (計量スプーン)	アイス ice (計量スプーン)	マグカップ mug (計量スプーン)
6カップ	すりきり6杯		
5カップ	すりきり5杯		
4カップ	すりきり4杯		すりきり6杯
3カップ	すりきり3杯		すりきり4杯と1/2
2カップ	すりきり2杯		すりきり3杯
1カップ	すりきり1杯と1/2		すりきり2杯

ホットとマグカップは、1カップあたりのカップ量が異なります。

ホット: 約120ml
アイス: 約180ml



すりきり1杯とは、スプーンの縁すれすれのところです。

⚠ 注意

スプーンは、コーヒー豆などと一緒に冷蔵庫(冷凍庫含む)へ入れない
持ち手のところのゴムがスプーンから剥離する恐れがあります。また、極端に冷えたスプーン(ステンレス製)を素手で触ると凍傷になる恐れがあります。

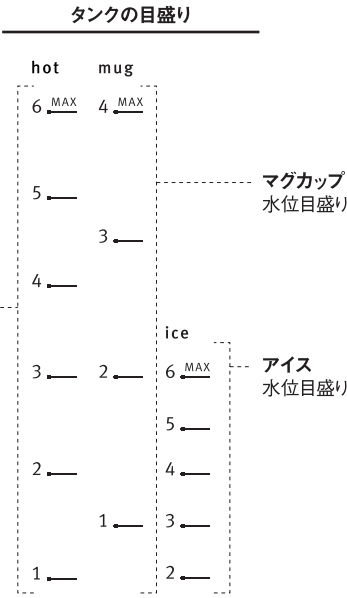
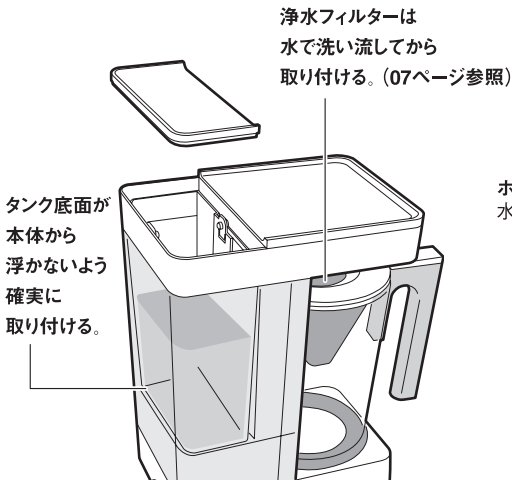
コーヒー粉はペーパーフィルター用中びき粉を用意してください。
細びき粉を使用しますとペーパーフィルターが目づまりし、バスケットからコーヒーがあふれることがあります。

計量スプーン6杯を超えるコーヒー粉を入れないでください。
コーヒーがあふれることがあります。

コーヒーの作りかた

2 ガラス容器を保温板にのせ、タンクに水を入れて本体に取り付ける

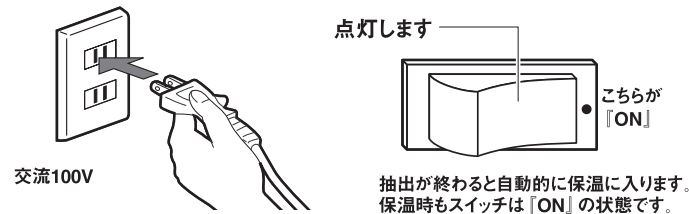
- ① ガラス容器を保温板にのせます。
- ② タンクの見盛りに合わせて水を入れ、本体に取り付けます。
- ③ タンクふたを取り付けます。



給水する時は本体からタンクをはずしてください。
本体に取り付けた状態で水を入れると水量が多くなります。

タンクの見盛り「ホット6」を超える水を入れないでください。
ガラス容器からコーヒーがあふれることがあります。

3 さし込みプラグをさし込みスイッチを『ON』にする



でき上がり時間の目安 *水温:約20℃の場合

カップ数	ホット hot	アイス ice	マグカップ mug
6カップ	約7分	約4.5分	
5カップ	約6分	約4分	
4カップ	約5.5分	約3.5分	約7分
3カップ	約4.5分	約3分	約6分
2カップ	約3.5分	約2.5分	約4.5分
1カップ	約2.5分		約3分

抽出中に水を追加しないでください。

でき上がり時間は水温、室温、電圧などで変わることがあります。

1カップ分の標準ででき上がり量は、ホットで約120mlマグカップで約180mlです。
コーヒーの種類や量、粗さにより、でき上がり量が変わります。

コーヒーの作りかた

4 バスケットをはずしコーヒーを注ぐ

- ① しずくもれに注意し、バスケットをはずします。
- ② バスケットふたのつばを押さえてカップに注ぎます。



※バスケットをガラス容器にのせたまま
コーヒーを注ぐと、コーヒー粉がバスケット
からこぼれることがあります。

■ アイスコーヒーを作る場合

グラスに氷を約8分目まで入れて、でき上がったコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。
できたてのコーヒーを氷に注ぐことにより香りが逃げずおいしくできます。

- ★お好みによりシロップ生クリームなどご用意ください。
※ガラス容器に氷を入れてかき混ぜないでください。
ガラス容器が割れる原因になります。



■ 続けてコーヒーを作る時は

- ① 必ずスイッチを『OFF』にして5分以上待ちます。
- ② 「コーヒーの作りかた」(7～8ページ)をくり返してください。



注意

本体が高温になっていますので、やけどなどに充分注意してください。
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると浄水フィルターから
蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

■ 保温する時は

ガラス容器にバスケットふたをして保温板にのせ
スイッチを『ON』のままにしておきます。
※15分以上保温すると風味を失います。できる限り早めにお召しあがってください。

■ ご使用後は

スイッチを『OFF』にして、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

■ 途中で使用を中止する時は

- ① スイッチを『OFF』にして、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - ② 抽出が完全に終わってからガラス容器を引き出してください。
 - ③ タンクに残った水を捨ててください。
- ※タンク取り付け部に残った水は乾いた布でふき取ってください。

コーヒーレシピ

■ ウィンナーコーヒー (1人分)

コーヒー	120ml
グラニュー糖	小さじ2杯
生クリーム	適量

生クリームをかために泡立てます。カップにグラニュー糖を入れ、できたてのコーヒーを注ぎ、泡立てた生クリームをのせます。

■ カフェオレ (1人分)

コーヒー	60ml
牛乳	60ml

カップに温めた牛乳を入れ、できたてのコーヒーを注ぎます。
お好みでコーヒーと牛乳の割合を変えてもよいでしょう。

■ ハニーアイスコーヒー (1人分)

コーヒー	120ml
はちみつ	小さじ2杯
氷	適量

グラスに氷を約8分目まで入れ、アイスコーヒー用に抽出したできたてのコーヒーを注ぎはちみつを加えてかき混ぜます。

ワンポイントアドバイス

■ コーヒー豆はお好みに合わせて

種	類	酸味	甘味	苦味	中性
モ	カ	●	●		
コ	ロ	●	●		
キ	リ	●			
ガ	テ	●	●		
ブ	ラ				●
ブル	マ		●		
ジ	ヤ			●	
ハ	ワ	●			

■ 風味を損なわないために

長時間保温するとコーヒーは酸味が出てくるので、飲み切れる量だけ作るようにしましょう。

■ コーヒー豆は新しいものを使いましょう

開封後はできるだけ早くお使いください。

保存方法

《コーヒー豆・コーヒー粉》
密封容器に入れ冷蔵庫で保存してください。
※付属の計量スプーンは冷蔵庫及び冷凍庫へは入れないでください。

■ 熱いコーヒーを飲むために

カップは温めておきましょう。
少量の時や室温が低い時はコーヒーの温度が低めになりますので、スイッチを切らずに約5分間保温してからお飲みください。

お手入れ

お手入れする時は

- 必ずさし込みプラグを抜き、本体・保温板などが冷めてから早めに行ってください。
- 食器用中性洗剤とスポンジ・布などをお使いください。ベンジン・シンナー・みがき粉・たわしなどは表面を傷つけますので使わないでください。
- 食器用乾燥器・食器洗い乾燥機に入れて乾燥させないでください。
部品の変形の原因になります。
- 熱湯は使わないでください。
変形や割れる原因になります。

各部のお手入れ

水洗いできないもの

■ 本体・保温板

食器用中性洗剤を入れた水にふきんを浸し固くしぼったものでふき、さらに乾いた布でふき取ります。



警告



水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。

水洗いできるもの

■ ガラス容器

やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。みがき粉・研磨剤入りのスポンジ・金属たわしなどは使わないでください。ガラスが傷つくと割れる原因になります。

■ タンク・タンクふた・バスケットふた・バスケット

やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。

■ 浄水フィルター

活性炭フィルターの目づまりを防ぐため、ご使用のたびに水で洗い流します。洗剤・漂白剤・ブラシなどは使わないでください。

湯の出方が悪くなった時は

水質によっては本体内の水管に湯アカが付着し、湯の出方が悪くなることがあります。
このような時は次の方法でお手入れしてください。

- 1 浄水フィルターは必ずはずします。(06ページ)
(浄水フィルターに食酢が付着するためです)
- 2 ガラス容器にバスケットとバスケットふたを取り付け、保温板にのせます。
- 3 タンクの目盛り「ホット2」まで水を入れ、食酢50mlを加えてよく混ぜて溶液を作り、本体に取り付けます。
- 4 スイッチを『ON』にしてタンクの目盛り「ホット1」まで抽出したら、スイッチを『OFF』にしてそのまま10分間置きます。
- 5 スイッチを『ON』にして再び抽出します。抽出終了後5分待つてタンクをすすぎます。
- 6 水だけをタンクの目盛り「ホット6」まで入れ、抽出します。これを2回以上くり返します。
※食酢のにおいがなくなるまでくり返すのが目安です。

浄水フィルターをつけたままお手入れしてしまった時はさらに1～2回水だけで抽出してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

こんなとき	おたしかめください
コーヒーが抽出されない	■ さし込みプラグが抜けていませんか？ → コンセントにさし込んでください。 ■ スイッチが『OFF』になっていませんか？ → 『ON』にしてください。 ■ タンクが浮いていませんか？ → 確実に取り付けてください。
コーヒーがあふれる	■ ペーパーフィルターが浮いたり、折れ曲がったりバスケットふたにはさまったりしていませんか？ → 確実に取り付けてください。 ■ タンクの目盛り「ホット6」を越える水を入れていませんか？ → 「ホット6」以上入れないでください。 ■ 計量スプーンすりきり6杯を越えるコーヒー粉を入れていませんか？ → すりきり6杯以上入れないでください。 ■ コーヒー粉が細かすぎませんか？ → 細びき粉は使用しないでください。
抽出液に黒い繊維状のものが浮いている	■ 浄水フィルター内部の活性炭の繊維が抽出時に落ちることがあります。 → 浄水フィルターを水で洗い流してから取り付けてください。
コーヒーに油が浮いている	■ コーヒー豆の中に含まれている油脂分が抽出中に溶け出したものです。 → 害はありません。またバスケット、ガラス容器などの各部品や、コーヒーカップなどもよく洗い、乾燥させてご使用ください。
湯の出方が悪い	■ 本体内の水管に湯アカが付着しています。 → 11ページの「湯の出方が悪くなった時は」に従って、湯アカを取り除いてください。

以上のことをお確かめになり、それでも調子が悪い時はただちに使用を中止し、お買上げの販売店またはお客様サポートセンターにご連絡ください。

部品について

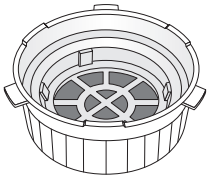
お買上げの販売店またはお客様サポートセンターでお求めください。

■ 浄水フィルター[消耗品] (1個)

活性炭フィルター付き。沸騰した湯が浄水フィルターを通り、カルキ臭などを減らします。

＜交換の目安＞
水質や使いかたにより異なりますが、約2年に1回が目安です。
(1日1回使用した場合)

※水質などにより、浄水フィルターが茶色く変色する場合がありますが、使用上差し支えありません。



■ 部品を購入する場合は

商品名・型名 (コーヒーマーカー・MC-213) と本体色をお伝えの上、購入したい部
品名と型名をお伝えください。

部品名	型名
コーヒーマーカー専用浄水フィルター (ブラック)	MCS-01-BK
コーヒーマーカー専用浄水フィルター (ホワイト)	MCS-01-WH
ガラス容器 (ブラック)	MCS-02-BK
ガラス容器 (ホワイト)	MCS-02-WH
計量スプーン	MCS-03

■ お客様サポートセンター

お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-161914**

受付時間 10:00～19:00 年中無休
携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel (03)5774-0947
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax (03)5467-0431

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、
お問い合わせください。

仕様

型名	MC-213
電源	交流100V 50・60Hz共用
消費電力	850W
本体寸法	幅220×奥行き155×高さ290 (mm) (コード、スイッチ部突起含まず)
本体質量	約2.1kg
最大水容量	810ml (6カップ)
温度ヒューズ	216℃
付属品	取扱説明書 (本書) カスタマー登録用紙 計量スプーン (1個) ペーパーフィルター (3枚)

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 「amadana」カスタマー登録のお勧め

「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただくために、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。本カスタマー登録の特典や登録方法は別紙の通りです。商品お買い上げ後1年以内が登録期限です。お早めにご登録ください。

4 修理をお申しつけされるとき

《保証期間中》 製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》 修理すれば使用できる商品は、ご希望により有料修理いたします。

5 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

ただし、「amadana」カスタマー登録に登録いただくと別規定を適用させていただきます。（詳細は別紙「amadana」カスタマー登録特典をご覧ください。）

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

6 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。（本機の場合、持ち込み修理となります）

7 上記の内容についての詳細、贈答、転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店または、弊社のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

■ お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

コーヒーマーカー保証書

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型 名		MC-213		修理メモ
■お客様	お名前		TEL	
	ご住所 〒			
■お買い上げ日		■販売店名・住所		
年 月 日				
保証期間 お買い上げ日より 本体1年		TEL		

■ 印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様サポートセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (ト) 消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

■お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
■この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社 リアル・フリース 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-27-8 tel 03-5774-0947

お客様サポートセンター

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-161914**
受付時間 10:00～19:00 年中無休
携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel (03)5774-0947
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax (03)5467-0431 株式会社リアル・フリース
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

amadana

<http://www.amadana.com/>